



13. 鉄道整備

- (79) 近鉄西大寺駅の高架化
- (80) 近鉄奈良線の移設

これまでは

大和西大寺駅及び平城宮跡周辺の8踏切が踏切道改良促進法「改良すべき踏切道」に指定されました。令和2年度中に鉄道事業者(近鉄)及び道路管理者(県及び奈良市)は国土交通大臣に「踏切道の改良に関する計画」を提出しなければなりません。



「改良すべき踏切道」指定箇所図

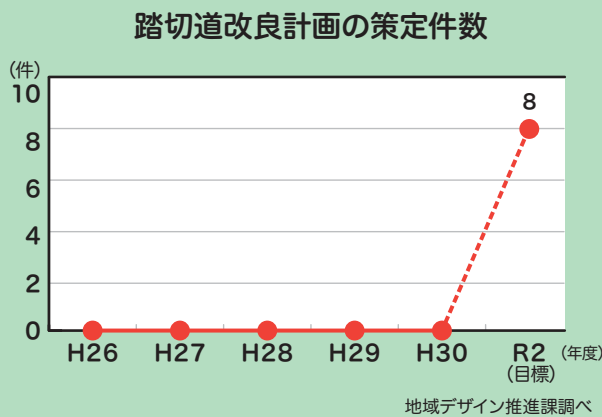
もっと良くするために

- ・連携協定に基づく3者(近鉄・奈良県・奈良市)で、大和西大寺駅の立体交差化及び近鉄奈良線移設・新駅設置の検討をしており、令和元年10月までに計7回の協議を開催したところです。
- ・「踏切道改良計画」を提出する令和2年度末までに踏切対策の具体案について結論を得ます。

目指す姿

令和2年度末までに踏切道改良計画の策定件数を8件にします。

道路と鉄道を立体交差化すると、踏切がなくなって、踏切における渋滞が解消されるんだね。



立体交差化などの踏切対策を進めることで、自動車や歩行者の交通がスムーズになるだけでなく、踏切における事故の防止にもつながります。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
渋滞対策案の検討	渋滞対策案のとりまとめ、整備効果の検討		
踏切道改良計画の作成	法定協議会の運営、計画の作成	策定	
踏切道改良計画の実施に向けた検討			調査・計画(予定)